

対象年度	令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	データヘルス計画の推進					予算事業名	国保保健事業費
予算科目	会計	02	款	項	目	事業	要求区分
			05	02	01	2101	経常経費
総合計画体系	1ともに支えあい、安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)					事業の区分	主要事業
	1-1健康で安心して暮らせる保健福祉の充実(健康・医療)						
	④健康保険制度の適正運営					担当課係等	保険年金課
	1国民健康保険医療の適正運営						国保年金係
事業期間	継続 (平成29年度～令和 5年度)						
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】				【事業開始のきっかけや他市の状況など】			
被保険者の健康の保持・増進および生活習慣病の重症化予防により、医療費の適正化が図られる。				平成25年6月の日本再興戦略において、すべての健康保険組合はレセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として、データヘルス計画の取り組みが求められた。			
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】				【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】			
レセプト・健康情報等の分析により抽出された被保険者の医療費や疾病傾向などのデータを基に、保健事業の対象者を選定し、PDCAサイクルにより効率的・効果的に保健事業を実施する。				40歳～74歳の国民健康保険被保険者			
				【事業をとりまく環境の変化】			
				平成20年度開始の特定健康診査や近年のレセプトデータ化により、医療保険者は被保険者の健康・医療情報を保持・蓄積していることより、データ分析とそれに基づく保健事業の展開が可能となった。一方、高齢化の進展や生活スタイルの変化により糖尿病や高血圧など生活習慣病が増加し、合併症としての慢性腎不全や脳血管疾患などによる医療費の増大も問題となっている。それらより、保健事業計画の策定と効果的・効率的な保健事業の実施・評価、改善が求められた。			
【令和2年度 事業内容】			【令和3年度 事業内容】			【令和4年度 事業内容】	
データヘルス計画に基づき、PDCAサイクルを回しながら、各種保健事業の展開を行う。			データヘルス計画に基づき、PDCAサイクルを回しながら、各種保健事業の展開を行う。			データヘルス計画に基づき、PDCAサイクルを回しながら、各種保健事業の展開を行う。	

■事業費

		H30年度	R01年度			
財源内訳	国庫支出金	6,785	7,939			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	31	0			
歳入計(千円)		6,816	7,939			
歳出内訳	節(番号+名称)		金額(千円)	金額(千円)		
	11	需用費	416	540		
	12	役務費	454	636		
	13	委託料	5,946	6,763		
歳出計(千円)(A)		6,816	7,939			
伸び率(%)			16.47			
備考	総合計画 52ページ 予算書 224ページ					

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	ジェネリック医薬品差額通知	回	目標	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	0.00	0.00
	生活習慣病重症化予防（健診異常放置者・治療中断者）通知	通	目標	500.00	420.00	420.00
			実績	440.00	0.00	0.00
成果 指標	ジェネリック医薬品の普及率（数量ベース）	%	目標	70.00	75.00	80.00
	※H30年度実績はH31.1の実績値		実績	72.50	0.00	0.00
	受診勧奨通知による医療機関受診開始率	%	目標	20.00	20.00	20.00
			実績	14.50	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	データヘルス計画は医療保険者に策定義務があり、保険者である市は被保険者の健康保持増進や重症化予防のためデータヘルス計画を推進する必要がある
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	データヘルス計画は医療保険者に策定義務があり、保険者である市は被保険者の健康保持増進や重症化予防のためデータヘルス計画を推進する必要がある
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	多数のレセプトを詳細に解析することが必要なため、データの取り込み・分析は業務委託することが妥当である
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	委託業務に関しては、同業他社に乗り換えが可能か、また可能な場合はそのコスト及びこれまで蓄積したデータベースの活用について検討する必要がある
公平性	受益者の偏り	C 偏りがある	生活習慣病の重症化予防がメインであるため、事業対象者には偏りがある
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	受診行動適正化指導により、「1人ひと月当たり7,227円」の医療費削減効果がみられ、医療機関受診勧奨通知の効果は14.5%あった
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	データヘルス計画では中長期的な対策もあり、進捗はどちらともいえない
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
被保険者の状態に応じた内容の勧奨通知を送付することで、被保険者に行動変容が表れ上記成果を得た。しかし、昨年度通知を受けても行動変容が表れなかった方は、今年度も引き続き事業対象者となることが想定されるため、通知内容を工夫する等し訴求効果を高めなければならない また、レセプトや健診は、引き続きデータ取り込みをし、確度の高いデータベースを構築したうえで分析する必要がある			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
健康増進センターと連携し、先進自治体の成功例を参考にしながら、より効果的・効率的な保健事業を実施していく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 第2期データヘルス計画に基づき、効果的な保健事業を推進し、市民の健康保持及び医療費の抑制に努める。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。